

郡山と世界が
音楽でつながる
感動のコンサート。

がくと未来音楽祭2014

第1回

ミュージック ボンズ アカデミー

Music Bonds Academy

福島の子供たちと世界を音楽で結ぶ「ミュージックボンズプロジェクト」。今回はイギリスよりバイオリンデュオ「レトリカ」を招き、世界の著名作曲家たちが福島の子供たちのために作った楽曲を初披露をします。また音楽を志す子供たち対象にマスタークラスも同時開催。メインは会場を歌でひとつにする感動の大合唱。市内の小学生たちや高校生たちが参加する予定ですが、さらなる感動のため、皆さんの歌声を求めています。ぜひお気軽にご参加ください！

3/12日 **水** 入場無料

開場 16:40 開演 17:00 終了時刻 19:00 予定

場所 郡山市民文化センター

後援：福島県／郡山市／郡山市教育委員会／福島民報社／福島民友新聞社／NHK福島放送局／ラジオ福島／福島テレビ／福島中央テレビ／福島放送／テレビユー福島／ふくしまFM／FSGカレッジリーグ

ご家族と！参加者募集中！！
お友達と！

①第1回ミュージック・ボンズ・アカデミー参加希望 ②代表者名前 ③人数（大人00名・子供00名）④電話番号を記入して、下記メールアドレスまたはFAX番号へ送信してください。折り返し確認のメールまたはお電話をさしあげます。



美人バイオリンデュオ
『レトリカ』
初来日！



参加者全員に
オリジナルステッカー
プレゼント！！

アドバイザー／ミュージカルがくと館館長の佐藤 守廣氏

主催・お問合せ／ふくしま MUSIC BONDS(絆)プロジェクト 実行委員会事務局(国際アート&デザイン専門学校内)

MAIL : ad@nsg.gr.jp FAX : 024-956-0023 TEL : 024-956-0040

しあわせ運べるように (ふるさとバージョン)

作詞・作曲 白井 真

一、

地震にも 負けない 強い心をもって
亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう
傷ついた「ふるさと」を もとの姿にもどそう
支えあう心と 明日への 希望を胸に
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わる 「ふるさと」のまちに
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように

二、

地震にも 負けない 強い絆^{きずな}をつくり
亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう
傷ついた「ふるさと」を もとの姿にもどそう
やさしい春の光のような 未来を夢み
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わる 「ふるさと」のまちに
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように

当日、
この干支(歌詞)を
持参してね~♪
みんな
歌おう!!



日本著作権協会 (出) 許諾 第1401665-401

しあわせ運べるように(ふるさとバージョン)について

この歌は1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災を経験され、ご自分も一命を取り留めた当時神戸私立吾妻小学校で音楽を指導されていた白井真先生が作詞・作曲されたものです。当時、「天使の歌声で届ける“希望と復興の歌”」といわれ、多くの被災をされた方々を勇気づけ、今でも「復興のシンボル」として歌い継がれています。2004年10月23日の新潟中越地震の際は、神戸から被災地へ届けられました。また、国内のみならず、英語・中国語・フランス語・ベルシャ語・トルコ語・イタリア語・カンボジア語・ハンガリー語にも訳され、海外でも歌われています。そして、2011年3月11日の東日本大震災でもこの歌が、作者 白井先生の気持ちを乗せて歌われ始めています。

しあわせ運べるように~作詞・作曲家からの言葉~

皆さんへ、「しあわせ運べるように」を東日本の皆さんに届けるにあたり、歌詞の「神戸」の部分「ふるさと」に替えた「ふるさとバージョン」を作りました。それぞれのふるさとを思いながら、ご自身のふるさとが生まれ変わる事を願って、歌って頂ければ幸いです。東日本大震災以降、ふるさとの大切さ、愛おしさ、美しさに思いを寄せた方もいらっしゃると思います。そういう思いを歌に乗せて、一人でも多くの方の心にこの歌が響き、亡くなった方々への鎮魂に、生き残った方々の希望になる事を願っています。みなさんに、しあわせ運べるように。

作詞・作曲 白井 真